

難しい漢字をみたとき、へんやつくりの読みから類推して我流の誤った読み方をしてしまうことがあります。脆弱をキジャク、垂涎をスイエンと読んでしまうような間違いで、昔は百姓読みと侮蔑的に呼ばれました。この言葉はいかにも差別的なので使いたくないのですが、代わる適切な呼び方はないようです。一方、様々な理由で誤った読みのほうが優勢になってしまうことがあり、これを慣用読みと言います。消耗、輸出、漏洩（それぞれショウコウ、シュシュツ、ロウセツが正しいとされる）などが代表的な慣用読みで、その多くは百姓読みです。

医学用語にも本来の読みと異なった読み方をするものはいくつかあり、なかには昔の医者 of 教養を疑いたくなる（失礼！）ようなものもあります。例を挙げて考えてみましょう。

口腔 もっとも有名な慣用読みでしょう。腔はコウなので正しくはコウコウですが、医学の世界ではコウクウと読まれます。胸腔、腹腔も同じです。鼻腔をビコウと読んでしまうと鼻孔と区別できなくなるからだという話もありますが、納得できる理由とは思えません。医学用語以外では、腔腸（動物）はコウチョウ、満腔（の謝意）はマンコウです。

臍帯 臍の音はセイなので正しくはセитайですが、そう読む人はいません。臍窩、臍石など、医学ではヘソはすべてサイです。一般用語では臍下丹田はセイカタンデンです。

貪食 これをドンショクと読むことに疑問を感じる人は少ないでしょうが、貪の本来の読みはタンです。貪欲はドンヨクじゃないかと思うでしょうが、これもタンヨクが正しく、ドンヨクは慣用読みです。貪の字の構成要素にドンと読む部分はなく、いわゆる百姓読みでないところが珍しい。仏教用語では貪の呉音のトンをとって貪欲をトンヨクと読むそうで、それがなまってドンヨクになったのかもしれませんが、漢音でも呉音でも貪にドンという音はありません。

胼胝 ヘンチが正しく、ベンチは慣用読みです。昔の皮膚科雑誌に、ヘンチと読むべきだと主張する投書があり感心して読んだ記憶がありますが、いまだにヘンチが優勢になる様子はありません。

稗粒腫 医局の先輩がヒリュウシュと呼んでいたのもうそう読んでいましたが、稗の音はヒでなくハイであるという指摘があり、最近ではハイリュウシュと読む人が多いようです。一方でまだヒリュウシュと読む人もいて、両者が混在している状態だと思います。

洗滌 センジョウと読みたくなりますが、正しくはセンデキです。胃洗浄のことを昔は胃洗滌と書きました。滌は洗う、すすぐという意味の漢字であり、浄めるの浄とは意味が違います。字義からして胃洗滌が正しい表記であることは明らかですが、これを昔の医者もイセンジョウと読んでいたようです。戦後、滌という難しい漢字が嫌われて、今は胃洗浄ばかりになりました。

（相馬良直）

— 顧 問 —

大原 國章 大塚 藤男

— 編集委員 —

土田 哲也 五十嵐敦之 相馬 良直 林 伸和 佐伯 秀久

「皮膚科の臨床」第66巻 第13号 12月号

2024年12月1日発行（毎月1回1日発行）

定価 3,300 円（本体 3,000 円＋税 10%）

年間購読料金

定価 50,160 円（本体 45,600 円＋税 10%）

〔年間13冊（臨時増刊号、増大号を含む）の誌代〕

〔年間予約購読者に限り送料無料〕

発行所 金原出版株式会社

発行者 福村 直樹

〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-14

TEL 03(3811) 7165〔編集室直通〕

TEL 03(3811) 7184〔営業部直通〕

FAX 03(3813) 0288

ホームページ www.kanehara-shuppan.co.jp

振替口座 00130-1-191269

印刷所 三報社印刷株式会社 TEL 03(3637)0005

広告申込先 (株)文京メディカル TEL 03(3817)8036

- ・本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権（送信可能化権を含む）、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著作者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

- ・**JCOPY**＜出版者著作権管理機構 委託出版物＞

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（TEL：03-5244-5088、FAX：03-5244-5089、E-mail：info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。